

長野東高等学校は、生徒の多様な進路に応えるために1年次から3年次まで、計画的にキャリア教育を実施しています。

1年「自分を見つめ直す」 2年「自分の可能性を探る」 3年「未来への扉を開く」

## 1 しなのめお仕事塾

様々な職業の分野からその道の専門家を講師として招聘し、生徒が希望する講座を選んでお話を聞きます。講師は消防士、弁護士、保育士、アナウンサー、薬剤師、看護師、美容師、店主、タレントなど、毎年多岐にわたります。



## 2 上級学校・企業見学

長野東高生の進路は、4年生大学・短大・専門学校が90%以上、就職が5%程度です。生徒が具体的に進学・就職を考える手がかりとなるように、首都圏・近県・県内の大学・企業等の見学を行っています。



## 3 夏休み就業体験・サマーチャレンジボランティア他

## 4 修学旅行における伊江島民泊（2泊）

修学旅行の中心となる体験学習は、沖縄県伊江島における2泊の民泊・家業体験です。伊江島の一般家庭で異なる気候・生活・食事を体験し、“家族”の一員として交流することでコミュニケーションの力も試されます。



## 5 出前授業（1・2年生合同で実施）

大学・短大・専門学校の約20の分野の専門家（教授や講師）をお招きし、模擬授業をしていただいています。生徒が希望する進路先の授業を実際に体験することで、進路に対する考えが深まり、普段の学習にも力が入るようになります。



## 6 朝読書（通年・全学年で実施）

朝、SHRに続く10分間を読書の時間として設けています。基本は生徒自身が読みたい本を持参して読む形ですが、学年で統一して「指定図書」を設定する方法もとっています。図書委員会からは職員が生徒に紹介する本の「Book List」が発行されます。

